

平成29年度事業報告

項 目	内 容																
電話・面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（0120-43-0874）等で受付対応した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。 ○ 電話・面接相談の受理状況（H29.4月1日～H30.3月31日） 受理総数 120件（相談者実数 42人） 電話71件、面接49件、 居住地域～東部26件、中部22件、西部57件、県外15件 主な内容～性犯罪、交通事故、傷害暴行等 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者及びその家族に、専門家（精神科医、臨床心理士）を紹介したり、西部相談所において週1回常駐している臨床心理士によるカウンセリングを実施し、精神的負担の軽減を図った（18件）。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した（4件）。 																
直接的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて病院、法的機関等への付添、自宅訪問等の支援を実施した。 直接的支援の実施状況（合計35件）（実人数10人） <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr><td>裁判所付添</td><td style="text-align: right;">19件</td></tr> <tr><td>検察庁付添</td><td style="text-align: right;">4件</td></tr> <tr><td>警察署付添</td><td style="text-align: right;">2件</td></tr> <tr><td>弁護士事務所付添</td><td style="text-align: right;">1件</td></tr> <tr><td>病院付添</td><td style="text-align: right;">1件</td></tr> <tr><td>カウンセリング付添</td><td style="text-align: right;">1件</td></tr> <tr><td>裁判所送迎</td><td style="text-align: right;">5件</td></tr> <tr><td>自宅訪問</td><td style="text-align: right;">2件</td></tr> </table> ○ 緊急避難場所の提供 1件 ○ 全国被害者支援ネットワーク被害者緊急支援金の支給 1件 	裁判所付添	19件	検察庁付添	4件	警察署付添	2件	弁護士事務所付添	1件	病院付添	1件	カウンセリング付添	1件	裁判所送迎	5件	自宅訪問	2件
裁判所付添	19件																
検察庁付添	4件																
警察署付添	2件																
弁護士事務所付添	1件																
病院付添	1件																
カウンセリング付添	1件																
裁判所送迎	5件																
自宅訪問	2件																
犯罪被害者等給付金申請補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 犯罪被害者等からの相談を受けた際、犯罪被害給付金制度等の紹介を行い、申請補助はなかった。 																
自助グループに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会等の際、会場、資料、情報等の支援を行った。（6回） ○ 全国被害者支援ネットワーク開催のフォーラム・研修会への参加 東京 10月6～8日 ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が、市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った（9回）。 																

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「鳥取県被害者支援フォーラム」を開催し、県民の被害者支援意識の高揚を図った。 11月22日 倉吉未来中心小ホール（入場者約250名） ・ 「被害者支援を考える講演会」を開催し、被害者等の理解と被害者支援意識の高揚を図った。 9月9日 米子市文化ホール（入場者約180名） ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、中・高校生等に対する命の大切さの意識高揚を図った。 4月25日米子北高等学校から始まり3月20日境高等学校まで14回12校で実施（高校6校、中学校6校） ○ ホームページによる広報活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 専用ホームページで、支援センターの組織体制、業務の説明、活動状況、相談窓口の案内、新着情報等をタイムリーに掲示して、支援センターの利用を広報した。 ○ 広報・啓発用ポスター、リーフレット等の作成、配布 <ul style="list-style-type: none"> ポスター、リーフレット、チラシ等を作成して、関係機関等での掲示や街頭活動、講演会、研修会等での配布を行い、支援センターの広報及び被害者支援に対する意識の高揚を図った。 ○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） <ul style="list-style-type: none"> 平成29年7月第17号、平成30年1月第18号を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、支援センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 ○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県と県警と合同で、 ・ 9月5日 米子市内大型ショッピングセンターにおいて「被害者支援を考える講演会」の開催呼びかけを行った。 ・ 11月17日 倉吉市内ショッピングセンター2か所において「鳥取県被害者支援フォーラム」等の開催呼びかけを行った。 ・ 11月28日 鳥取市内大型ショッピングセンターと日吉津村内大型ショッピングセンターの2か所において、全国犯罪被害者週間（11/25～12/1）に併せた意識啓発を行った。 ○ ラジオ放送の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月7日、DARAZネットにおいて「被害者支援を考える講演会」等の広報を行った。 ・ 1月24日、FM山陰において、犯罪被害者等の人権と被害者支援に関する広報を行った。 ○ 被害者支援講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演等を行った。（25回）
<p>関係機関・団体等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者支援の全国組織「全国犯罪被害者支援ネットワーク」の開催する研修会等へ出席して、全国の民間被害者支援団体との連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国犯罪被害者支援フォーラム・全国秋期研修会 東京 10月6日～8日 7名参加 ・ 全国被害者支援ネットワーク中四国ブロック研修会 鳥取 8月26日～27日 4名参加 香川 1月20日～21日 1名参加 ・ 全国事務局長会議 東京 4月21日 ・ 中四国ブロック事務局長会議 鳥取 8月25日 香川 1月19日 ○ 県内の関係機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> 被害者の支援に係わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席するとともに連携について協議を行った。
<p>被害者支援ボランティアの養成、研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第10期被害者支援ボランティアの養成講座 7回実施 6名が養成講座を受講、3名をボランティアとして登録。 ○ 継続研修

	<p>8回実施 関係機関開催の研修会参加 10回 兵庫県こころのケアセンター研修 神戸 7月26日 3名参加 神戸 11月9日～10日 1名参加</p>
<p>財政・体制強化の 推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 財政強化の一環として <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国ネットの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し読み終えた本で寄付をしていただく活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月11日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の1%を寄付していただく活動を実施した。 ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業（1月から3月末）に参加、募金活動を実施した。 ○ 寄付金付き自動販売機の設置への取り組みを図った。 ○ 募金箱の設置場所の拡大を図った。
<p>組織の運営体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正会員数：24名 個人： 6名 法人：18団体 ○ 賛助会員数 個人：151名 法人：67団体 ○ 職員数 常勤職員：2名（事務局） 非常勤職員：4名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局経理担当：1名） ・ 西部相談所：3名（うち1名はカウンセリング担当） ○ 支援活動員（ボランティア）登録数 38名